

1年間のおつきあい

イタドリで遊ぼう

札幌市立白楊小学校 岩 淵 修 子

たっぷり自然に「浸る」活動をさせたいと思っても、校区内の公園は、あまりにもきちんと整備され過ぎていて、単なる広場や遊具場としか言えないものも多いようです。しかし、ちょっとした小川の河川敷や草原には、意外にもよい学習材があるものです。その中の一つ、イタドリをつかってダイナミックな活動を構成することができます。

- イタドリは、どこにでも見られ、しかも群生しているので数も豊富です。
- 子どもの背丈以上もあるので、体全体を使った遊びが工夫できます。
- 段ボール用ののこぎりで簡単に切ることができ、子どもにも容易に扱うことができます。
- 葉や茎などから季節の変化を感じ取ることができます。

おにごっこ



かくれんぼ



きちづくり



ふえあそび



バンブー
ダンス



チャンバラ



さかなつり



すもう



春の芽吹く頃は、土から顔を出した葉が赤く大きく、「おやっ！」と人目を引きます。春さがしの時に子どもたちが興味を持ったらしめたもの。春、夏、秋と季節を通して活用できる学習材です。

前、見たときは夏だったので、みどり色だったが、ちっいろなくなっていました。わたしは、もう、あきだから、ちっいろなくなったんだと思います。いかだをつくって、さかなつりとかをやりました。 H子